



▲防犯対策などについて関係機関にて協議

みんなでつくる安心のまち 「甲佐町安心・安全まちづくり推進協議会」

5月20日（火）町本庁舎で、「令和7年度甲佐町安心・安全まちづくり推進協議会」第1回会議が開催されました。同協議会は犯罪や事故防止の対策の協議、町民の安全意識の高揚を図る啓発などを目的に設置。今回は、御船警察署から御船署管内の交通、犯罪情勢などの講話のほか、防犯カメラの設置やあゆまつりのパトロール実施についての協議が行われました。



▲野菜料理のレシピを配布する食生活改善推進員のみなさん

私達の健康は私達の手で 甲佐町食生活改善推進協議会

6月2日（月）甲佐町直売所ろくじ館で、甲佐町食生活改善推進員協議会による食育啓発キャンペーンが開催されました。同協議会では、地域住民に食育の考え方や健康的な食生活に関する知識の普及を図るために、地域での食生活に関する活動を実施しています。今回は6月の「食育月間」に合わせて、フードモデルの展示や健康に関するリーフレットの配布を行いました。



▲御船署協議会委員の委嘱を受けた古田良子さん（写真後列左）

地域と警察署の橋渡し役 御船警察署協議会

6月6日（金）御船警察署で、令和7年度御船警察署協議会の委嘱交付式が開催され、古田良子さん（大町区）に同署の丸山修所長から同協議会委員の委嘱状が交付されました。同協議会は、警察署の業務運営に地域の実態に応じた要望・意見を反映させるために設置されたもので、古田さんを含めた管内市町村の委員6名は地域と警察署の橋渡し役となります。



▲内田代表取締役（左）に感謝状を手渡す甲斐町長

町の寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

5月21日（水）町本庁舎で、企業版ふるさとと納税制度を活用し、本町へ寄附いただいた東南運輸株式会社と九州条鋼加工株式会社（合志市・内田智三代表取締役）に感謝状が贈られました。今回、同社からいただいた寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。



▲深水代表取締役（左）に感謝状を手渡す甲斐町長

町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

5月21日（水）町本庁舎で、企業版ふるさと納税制度を活用し、本町へ寄附いただいた山王株式会社（熊本市・深水弘一代表取締役）に感謝状が贈られました。今回、同社からいただいた寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。

どろんこ遊び楽しいな 令和7年度乙女小「まつやま塾」が開講

5月23日（金）まつやま塾が開講しました。

同塾は、地域社会で子どもたちを育てることを目的に町教育委員会が住民の協力を得て、平成20年から放課後に開講。米作りやソーメン流しなどの体験活動を計画し、乙女小学校を中心に年間40回、活動を行います。

乙女高齢者福祉センターで行われた開講式では、指導者の紹介や活動での注意点などの説明があり、参加者は真剣な表情で耳を傾けました。

6月18日（水）には、同小近くにある「まつやまの田んぼ」にて「どろんこ遊び」が行われました。参加した17人は、町から委嘱を受けた地域の指導者が見守るなか、同塾が管理する田んぼでビーチボール遊びやソリ遊び、かけっこなどの「どろんこ遊び」を満喫しました。最初は泥に入ることに抵抗があった子どもたちも、すぐに泥に慣れ、最後には頭からつま先まで泥だらけに。子どもたちらしい、みずみずしい夏のはじまりを満喫しました。



▲多くの来場者でにぎわうびぶれす広場で開催された物産展の様子

本町の物産と観光をPR 第18回甲佐町観光物産展

6月5日（木）、熊本市のびぶれす広場で第18回甲佐町観光物産展が開催されました。本町の魅力ある物産や観光資源、郷土文化などを町外にPRすることを目的に、甲佐町商工会（中村幸男会長）が主催。町内から8店舗が出店し、多くの来場者が本町の特産品を買い求めました。また、甲佐高校の生徒も参加し、各ブースで接客などの販売実習を行いました。

▼田んぼでソリのリレー競走やビーチボール遊びを楽しむ子どもたち

